

都市再生整備計画(第4回変更)

うちなだなんぶ
内灘南部地区

いしかわ うちなだ
石川県 内灘町

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	石川県	市町村名	内灘町	地区名	内灘南部地区	面積	360 ha
計画期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度	交付期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度				

目標
【大目標】新旧住民が誇りを持って暮らせる安全・安心・快適なコミュニティづくり
目標1：新旧住民の交流が育まれる居住環境の向上による定住促進
目標2：包括的な防災機能強化による安全・安心な生活基盤づくり
目標3：歴史的資源や空家などの活用による地域コミュニティの活性化

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 内灘町は日本海に面して南北に細長い海岸砂丘地上に形成されてきた町であり、県都金沢市と隣接するほか、金沢医科大学が立地することから、金沢市近郊の住宅都市、学園都市としての性格を併せ持つ町として発展してきた。また、町域を南北に走る能登有料道路の金沢方面側からの入口部にあつて、金沢方面と能登方面とを連絡する交通の要衝でもある。地理的条件や道路交通体系などから県都金沢市との結びつきが極めて強く、金沢都市圏の一翼を担う人口約26,800人(約9,500世帯)の町である。
 その中で当該地区は河北潟放水路の南側に位置し、西側は日本海、東側は河北潟から南流する大野川を介して金沢市と隣接する三方を水面で囲まれたエリアであり、行政機能、交通拠点、教育、医療機関などが集積立地する内灘町の中心部を形成する地域である。当該地区は金沢都市計画区域にあって市街化区域に指定されており、砂丘地端部にあたる大野川沿いの低地(地区東部)には古くからの集落地や市街地が連なり、主として準工業地域に指定されている一方で、砂丘地上部(地区西部)には比較的近年に開発された新しい住宅地が広がり、主として住居専用地域に指定されている。
 近年は、内灘大橋(サンセットブリッジ内灘)や内灘湊大橋の開通により、周辺地域から当該地区へのアクセス性が向上し、幹線道路網としての体系は整いつつあるものの、古くから形成されている集落地内や市街地内の生活道路を中心に、幅員4mにも満たない狭隘な道路が数多く残されており、防災ならびに除雪、交通安全対策を考慮する軸線としての道路整備を求める声が地域住民から寄せられている。
 また、当該地区内の古くからの集落地内には、砂地から湧き出る清水をせき止めてつくられた「ミト」と称される洗い場が3箇所現存しているほか、昔ながらの蔵も点在しており、こうした歴史的な資源や生活文化を再生し、まちづくりへの有効活用が模索されている。
 一方、当該地区においては、古くからの集落地、既成市街地と新しい住宅市街地が共存する中で、従来から地区内に居住している住民と新たに他地域から転入してきた住民との関わり、交流が希薄となっており、地域コミュニティ、地域としての一体性の低下が懸念されている。
 このような状況の中で、当該地区の一角を占めて古い歴史を誇る密集住宅地を抱える向粟崎地区においては、平成17年10月に街なみ環境の整備を目的として地域住民が主体となった協議会が設立され、今日に至るまで役員会、研修会、地区説明会を重ねながら、将来的に望ましい地域のまちづくりのあり方について協議、検討を行っている。こうした活動を通じて平成18年11月には「向粟崎地区街づくり協定」が締結され、住宅等の整備、維持管理に関する事項が取り決められるなど、まちづくりに対する住民意識は徐々に高まりつつある。

課題
①居住環境の向上と定住促進
 古くからの集落地、既成市街地と新しい住宅市街地が共存する中で、その都市基盤整備状況に格差が広がりつつあり、特に古くからの集落地部においては、その活力を維持、向上させていくためには、人々を引きつける魅力ある居住環境への改善を図るなど、定住促進に向けた施策展開が必要である。
②生活・防災基盤の整備と防災意識の向上
 古くから形成されている集落地内や市街地内を中心に数多く残されている狭隘な生活道路について地域住民の理解と協力に基づいて拡幅整備を推進するとともに、海岸砂丘地上に広がる市街地特性を背景として、地域住民の日常的な防災意識の向上を図っていく必要がある。
③地域コミュニティの活性化
 従来から地区内に居住している住民と新たに他地域から転入してきた住民との関わり、交流が希薄化し、地域の一体性低下が懸念されている中で、かつて地域住民のコミュニケーションの場であった「ミト」や、地区内に点在する蔵などの歴史的資源や空家などを再生、活用し、まちづくりへの展開、地域コミュニティの活性化につなげていく必要がある。

将来ビジョン(中長期)
【第四次内灘町総合計画】
「つながりを大切にしたい活気あるまち」「緑と水に抱かれた便利で安全・安心のまち」「住民と行政がともに考え、育てるまち」を基本理念とし、都市基盤については、機能的で個性豊かなまちの実現を目指して計画的な土地利用と既存施設を活かした地域再生や、緑豊かで美しい街なみの形成など快適でうおいのあるまちづくりを推進するとしており、定住促進を重点プロジェクトの一つに掲げている。
【内灘町都市計画マスタープラン】
 南部地域の将来像として「魅力あふれるにぎわい空間の創出と良質な住環境の向上」を掲げ、良好な住環境を誘導するための景観等に配慮した街並みづくり、安全で快適な住環境の創出に努め、地区内の生活道路については狭隘区間の解消に努めるとともに防災機能の向上を図るものとしている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
地区人口	人	まち交区域内人口(住民基本台帳)	居住環境の向上による定住促進(目標1)により、地区の魅力を高め、地区人口の4%増加を図る。	23,370	平成19年度	24,400	平成24年度
接道不良住宅率	%	地区区域内における接道不良住宅率(街なみ環境整備区域)	安全、安心な生活基盤を整えること(目標2)により、狭隘道路に面する住宅率を減少させる。	72.3	平成19年度	60.0	平成24年度
空家件数	棟	地区区域内における空家の軒数	地域コミュニティの活性化を図ること(目標3)により、空家の棟数を減少(4%減)させる。	173	平成19年度	166	平成24年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1：既成市街地における街なみ環境整備により、魅力的で良好な居住環境への改善を図り、定住促進につなげる。 ・向粟崎地区において街なみ環境の整備を実施し、地域の都市基盤となる道路や小公園の整備を図る。</p>	<p>→ 内灘町向粟崎地区街なみ環境整備事業(■基幹事業：街なみ環境整備事業) アカシア向粟崎1号線緑化施設(■基幹事業：高質空間形成施設)</p>
<p>整備方針2：地区内に数多く残る狭隘道路や防火水槽などの生活・防災基盤を整えつつ、地域住民の防災意識の向上を図る。 ・向粟崎地区において街なみ環境の整備を実施し、4m未満の狭隘道路の拡幅整備を推進する。 ・地域住民からの要望に基づき、側溝改修を含めて生活道路を改修整備する。</p> <p>・地区内に不足する防火水槽を2基整備する。</p>	<p>→ 内灘町向粟崎地区街なみ環境整備事業(■基幹事業：道路)【再掲】 → 町道 幹10号向粟崎線整備(■基幹事業：道路) 町道新設整備(■基幹事業：道路) 町道幹1号向粟崎大根布線整備(■基幹事業：道路) 町道アカシア向粟崎55号線ほか整備(■基幹事業：道路) → 防火水槽整備(■基幹事業：地域生活基盤施設)</p>
<p>整備方針3：地域が誇る歴史的資源の再生や空家などの活用を図ることにより、地域コミュニティの活性化につなげる。 ・向粟崎地区において街なみ環境の整備を実施し、地域ならではの貴重な歴史的資源、生活文化、コミュニティの象徴として「ミト」の再生を図るほか、地区の快適性・個性を高める空間として所有者の協力を得ながら蔵(空き蔵)の整備、活用を推進する。</p>	<p>→ 内灘町向粟崎地区街なみ環境整備事業(■基幹事業：道路)【再掲】</p>

その他

【向粟崎地区におけるまちづくりの経緯】

(平成17年度)

- 平成17年10月18日 第1回協議会(協議会設立)
- 平成17年12月06日 第2回協議会
- 平成18年02月14日 第1回役員会
- 平成18年02月27日 第2回役員会
- 平成18年03月22日 第3回協議会

(平成18年度)

- 平成18年06月25日 第3回役員会
- 平成18年07月07日 第4回役員会
- 平成18年07月12日 地区説明会
- 平成18年07月14日 地区説明会
- 平成18年11月15日 第5回役員会
- 平成18年11月20日 街づくり協定書承認

(平成19年度)

- 平成19年05月10日 平成19年度 第1回協議会
- 平成19年05月25日 " 第2回協議会
- 平成19年08月10日 研修会(勉強会)
- 平成19年12月17日 平成19年度 第3回協議会

(平成20年度)

- 平成21年03月27日 役員会

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	172	交付限度額	69.5	国費率	0.4
---------	-----	-------	------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付対象事業費		
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路														
	地方道	町道新設整備 向粟崎2丁目	内灘町	直	W=6.0m L=110m	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	95.0	95.0	95.0	95.0	
	地方道	町道幹10号向粟崎線	内灘町	直	W=7.5m L=125m	平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	6.7	6.7	6.7	6.7	
	地方道	町道幹1号向粟崎大根布線	内灘町	直	W=20.0m N=7箇所	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25.2	25.2	25.2	25.2	
	地方道	町道アカシア向粟崎55号線ほか	内灘町	直	W=5.7m L=150m	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	6.3	6.3	6.3	6.3	
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	地域防災施設	防火水槽整備	内灘町	直	N=2.0基	平成22年度	平成23年度	平成22年度	平成23年度	17.5	17.5	17.5	17.5	
高質空間形成施設	緑化施設等	アカシア向粟崎1号線緑化施設	内灘町	直	A=24㎡	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	0.5	0.5	0.5	0.5	
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業		向粟崎1丁目、2丁目	内灘町	直	A=14.3ha	平成19年度	平成28年度	平成20年度	平成24年度	954.0	18.5	18.5	18.5	
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,105.2	169.7	169.7	0.0	169.7

提案事業													
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	
地域創造 支援事業													0.0
事業活用調査	事業効果分析調査		内灘町	直	-	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	2.0	2.0	2.0	2.0
まちづくり活 助推進事業													0.0
合計										2	2	2	0
												合計(A+B)	171.7

(参考)関連事業												
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費	
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度		
内灘町公共下水道事業	内灘町公共下水道	内灘町	都市整備局	498ha		○	○		S54	H27	28,000	
幹12号宮坂南線道路事業	宮坂地内	内灘町	道路局	L=633m w=9.5m		○			H18	H19	208	
幹12号宮坂南線道路事業(雪寒)	宮坂地内	内灘町	道路局	L=633m 電気設備 井戸一式		○			H18	H19	44	
幹12号宮坂南線道路事業(地特)	宮坂地内	内灘町	道路局	法面整形 A=7,000m			○		H18	H19	74	
災害ハザードマップの作成	-	内灘町	河川局	-		○			H20	H20	3	
合計											28,329	

内灘南部地区(石川県内灘町) 整備方針概要図

目標	新旧住民が誇りを持って暮らせる安全・安心・快適なコミュニティづくり	代表的な指標	地区人口 (人)	23,370 (H19年度)	→	24,400 (H24年度)
	目標1: 新旧住民の交流が育まれる居住環境の向上による定住促進		接道不良住宅率 (%)	72.3 (H19年度)	→	60.0 (H24年度)
	目標2: 包括的な防災機能強化による安全・安心な生活基盤づくり		空家件数 (棟)	173 (H19年度)	→	166 (H24年度)
	目標3: 歴史的資源や空家などの活用による地域コミュニティの活性化					

